

# 令和3年度 研究構想図

重点目標

主体的に学ぶ子（知）

研究主題

主体的に学び、共に高め合う子の育成

目指す子供の具体的な姿

- ♠（つなぐ力）自分事として学びの意味や価値が分かる。
  - ・学習の最後に、学んだことや学んだことの意味、自分の成長、友達のよさなどを自分事として振り返る。
- ♣（考える力）自分の考えや思いをもって、聞く・話す。
  - ・今まで学習したことや経験したことを使ったり友達と相談したりして、自分で考える。
  - ・自分の考えと比べて友達の発表を聞き、友達の意見につなげて自分の考えを発表する。

全教科で

研究仮説

♠（つなぐ力）

- ♠ 子供と教師による学びの意味・価値を共有したり、振り返りの内容の充実などをしたりすれば、自分事として学びの意味や価値が分かるだろう。

♣（考える力）

- ♣ 一人学びの充実を図り、話し合いにつなげる支援をしたり話し合いを深め、考えを広げる支援をしたりすれば、自分の考えや思いをもって聞いたり話したりすることができるだろう。

研究内容と方法

- ♠ 自分事として学び、学びを社会や未来につなげる
  - 子供と教師による学びの意味・価値の共有
    - ・年度当初の「学びの地図」作り（カリキュラムマネジメント）
    - ・学習の見通し・ゴールイメージをもつ学習計画作り
    - ・生活場面を意識した問題提示
  - 振り返りの内容の充実
    - ・振り返りの視点
  - 授業の学びを生かす家庭学習の充実
    - ・自分から学ぶ学習
    - 授業→学習習慣作り→ドリル学習→自主学習

- ♣ 自分の考えや思いをもって話し合う
  - 一人学びの充実と話し合いにつながる支援
    - ・一人一人の実態に合った助言やアドバイス（教師）
    - ・ペア学習で疑問点を話し合う（友達）
  - 話し合いが深まり、考えが広がる支援
    - ・話し合う目的の明確化
    - <確かめる><探す>
    - <まとめる><広げる>
    - ・発達段階に合わせた話し合いの進め方の定着

算数科を窓口に